

令和5年8月31日



学校だより 9月号

横浜市立瀬谷さくら小学校
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

「地域の人々の思いに支えられて」

校長 場家 誠

38日間あった夏休みがあっという間に終わり、さくら小にも子どもたちが帰ってきました。

今年は、コロナ感染症の法的扱いが第2類から第5類に引き下げられたことに伴い、「4年ぶりに何の制限もない夏」という語をよく耳にされたのではないのでしょうか。ニュース等を見ていると、いわゆる観光地に国内外から多くの人を訪れている様子や海水浴場等に以前のにぎわいが戻ってきたことなどが報道されることが多く、私自身も「本当にアフターコロナの時代がやってきたな。」と実感する夏になりました。

そんななか、下瀬谷や南瀬谷ニュータウン、ひなた山等の地域において4年ぶりに夏祭りや子ども神輿等のイベントが開催されました。また8月20日には、地域所在の会社に全面的にご協力いただき、こちらも4年ぶりに本校を会場にした「木工教室」を行うことができました。

この地域の初任者でもある私は、そうした地域のイベントにできるだけ参加するようにしました。そして、主催者や運営スタッフの皆さんといろいろとお話をさせていただきました。皆さんが、ロ々に「子どもたちが楽しんでくれていてよかった。」「子どもたちには、たくさん思い出をつくってもらいたんだよ。」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。

このまちに暮らす子どもたちのことを大事に思い、子どもたちに幸せな人生を歩んでもらいたいと願う、そうした地域の方々の熱い思いに支えられて、私たち教職員は日々、子どもたちと様々な活動に取り組むことができます。本当にありがたいことです。今後も引き続き、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

